

## 新発生・異常発生病害虫の原因究明と対策

### 【研究概要】

東京都では、極めて多品目の農産物が栽培されているため、生産現場では多種多様な原因不明の障害が発生し、農業経営に大きな影響を与えていた。農業生産の安定化のためには、これら未解明症状の原因を究明し、的確な対策を講じることが必要である。そこで、病害虫に関する障害について、早急に原因生物を特定し、その生理、生態を解明し的確な防除対策を推進することを目的に試験を実施した。その中で、今年度は下記の6つ成果が得られた。

- (1) アシタバ株腐病（仮称）に対してPCR及びLAMP法による迅速検出法を開発した。
- (2) ルッコラに発生する白色斑点症状について、病原を特定した。
- (3) パパイア黒粉病について、病原性と病原を明らかにした。
- (4) 利島のツバキを落枝させるヨコヤマヒメカミキリの生態を明らかにした。
- (5) オオタバコガによる現地スギ苗生産圃場での被害を確認した。
- (6) 三宅島の切り葉生産圃場におけるカンザワハダニの薬剤感受性を明らかにした。